

# メディカルタウンの住まい方

## ～ 最期の日までの家とケアと人と暮らし ～

高齢で一人暮らしとなり、病気や不安を抱えて医療・介護が必要となったとき、あなたはどこでどのように暮らしますか？  
住み慣れた町や家で、馴染みの人たちに囲まれて、暮らし続けることはできるでしょうか？  
もし住み替えるとしたら、どのような住まい方が考えられるのでしょうか？  
誰にでもいつかは訪れるであろう「その時」のためにも、  
これからの「住まい方」について、地域とのつながりも含めて話し合いませんか？

### ◆コーディネーター

**柳田邦男 氏** ノンフィクション作家

**秋山正子 氏** 30年後の医療の姿を考える会会長 白十字訪問看護ステーション統括所長

### ◆基調講演 「病院の世紀から 地域ケアの時代へ」

**猪飼周平 氏** 一橋大学大学院社会学研究科准教授

### ◆パネルディスカッション「最期の日までの家とケアと人と暮らし」

**新田國夫 氏** 国立市 新田クリニック院長 都市郊外での住まい方と在宅医療

**柴田範子 氏** 川崎市 NPO 法人「楽」代表・東洋大学ライフデザイン学部准教授 小規模多機能ケア

**松本 均 氏** 横浜市 横浜市健康福祉局介護保険課長 高齢化の進む団地での見守りと行政

**中村順子 氏** 秋田市 日本赤十字秋田看護大学 雪国での生活スタイルと看護の可能性

**三浦 研 氏** 大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授 個性を大事にする高齢者施設での住まい方  
(コメンテーター) 猪飼周平 氏 一橋大学大学院社会学研究科准教授

### ◆終わりに

**樋野興夫 氏** 30年後の医療の姿を考える会顧問 NPO がん哲学外来理事長 順天堂大学医学部教授

◆総合司会：大久保菜穂子 氏 聖路加看護大学看護実践開発研究センター客員研究員

**2011年2月13日(日)**

**13:30～16:30 受付：13:00～**

**聖路加看護大学アリス.C.セントジョンメモリアルホール**

地下鉄築地または新富町から徒歩6～7分

**入場無料・参加自由・申し込み不要**

共催：30年後の医療の姿を考える会、  
NPO 法人白十字在宅ボランティアの会  
高齢社会におけるソフト研究会

後援：東京都 高齢者住宅財団 朝日新聞社 毎日新聞社 厚生労働省

協賛：アメリカンファミリー生命保険会社 プルデンシャル生命保険㈱



